

10 / 14 - 4 全身麻酔薬・局所麻酔薬 (白尾)

1. 全身麻酔薬の Epoch-making 5 years
 - (ア) Ether
 - (イ) N₂O
 - (ウ) Chloroform
2. 全身麻酔の 3 条件
 - (ア) 睡眠 (無意識)
 - (イ) 鎮痛
 - (ウ) 筋弛緩 (不動化)
 - (エ) 時間
3. 麻酔薬の作用機序
 - (ア) Meyer-Overton のリポイド説
 - (イ) 臨界体積説
 - (ウ) 膜受容体の修飾説 :
4. 吸入麻酔薬
 - (ア) 揮発性麻酔薬
 - (イ) ガス性麻酔薬
 - ① 笑気
 - ② ハロタン
 - ③ イソフルレン
5. Minimum alveolar concentration (MAC) :

麻酔作用の強さ	肺胞内分圧
	動脈内分圧
	脳室内分圧
6. 血液-ガス分配係数 :
7. 麻酔の深さ 4 期
 - (ア) 無痛期 (analgesia) :
 - (イ) 興奮期 (excitement) :
 - (ウ) 手術期 (surgical anesthesia)
 - (エ) 麻痺期 (medullary paralysis and death)

安全域
8. 静脈麻酔薬
 - (ア) チオペンタール (barbiturates 系)
 - (イ) ミダゾラム (benzodiazepine 系)
 - (ウ) ケタミン : 最近麻薬指定された。

9. ケタミン（静脈麻酔薬）

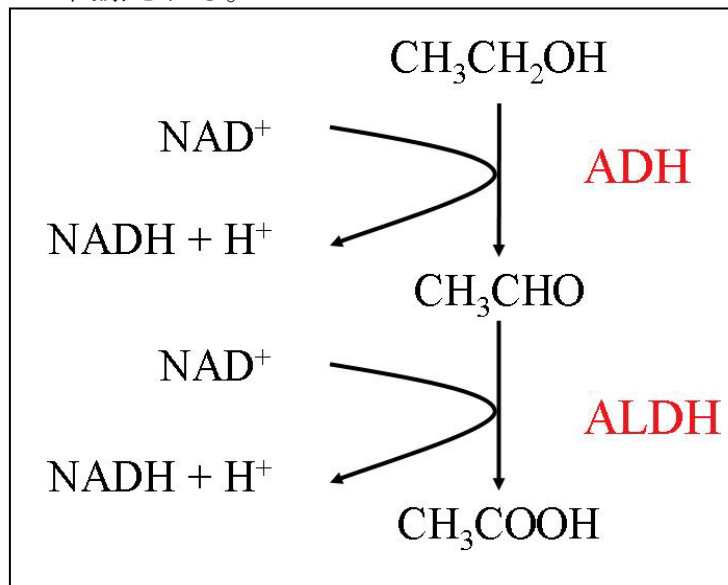
(ア)NMDA 受容体ブロッカー

1. 解離性麻酔薬と呼ばれる。

10. アルコール

(ア)エタノール

- ① 抑制性神経の抑制
- ② 安全域が非常に狭い：
- ③ 胎盤を通過する
- ④ Alcohol dehydrogenase(ADH)と aldehyde dehydrogenase(ALDH)で代謝される。



(イ)メタノール

- ① 代謝速度が遅い
- ② Formaldehyde, formic acid を生じてアシドーシスになる
- ③ 治療は ADH の阻害と重曹によるアシドーシスの治療

11. 局所麻酔薬

(ア)局所麻酔薬は知覚神経の伝導を遮断し、無痛を生じさせることを目的とする薬物である。

(イ)作用の本質